

フェスってなに？ “自然派市民の文化祭” として

大阪自然史フェスティバルは、大阪周辺の自然に関わるさまざまな団体があつまり、大阪の自然のおもしろさ、活動の楽しさを伝える場として、「自然派市民の文化祭」をテーマに補助金を得て2003年に初めて開催しました。自然史博物館などとの共催や、一般社団法人日本望遠鏡工業会や光学機器メーカーをはじめとする企業の協賛・協力を得ながら、2007年以降は毎年開催。出展団体は100団体を超える年もあり、来場者数は延べ1万人～2万人弱を維持しています。大阪自然史センターは、自然史博物館と協働して、事務局・各種デザイン制作・広報PRなどフェスティバル実施にかかるすべてをおこないます。『博物館を自然に関わる人たちのプラットフォームに、自然に関わる情報の行き交う交差点』にするために、地域と博物館を結ぶコーディネーターとしての役割を担っています。

イベント当日までの道のりは約半年！

約半年の期間をかけ、下記のようなスケジュールで実施されています。

準備	期	内容	(例) 2014年
	6月上旬	事務局の企画会議	
	6月中旬	出展団体の募集開始	
	8月中旬	出展団体・協賛企業の決定	
	8月下旬	ポスター・チラシ、WEBサイト、のぼり制作スタート 出展団体と展示内容について調整スタート	
	9月上旬	プレス発表	
	9月下旬	貸出用備品の確保、会場レイアウトの決定	
	10月上旬	広報開始（ポスター・チラシの発送等） 会場配布パンフレットの制作スタート	
	10月下旬	会場内看板の制作スタート	
	11月上旬	のぼり設置・会場設営に向けた準備（展示用壁面の設置等）	
	11/8	出展団体による会場の設営期間（～前日）	
当日	11/15～16	開場前の朝8時より準備スタート	
その後	11月下旬	協賛企業・出展団体・ご来場の皆さまへ御礼のご挨拶	
	12月下旬	収支決算の確定	

スタッフ構成

事務局と当日の運営は、大阪自然史センターのスタッフと自然史博物館学芸員が総出で協力し合いおこなっています。

準備

【フェスティバル事務局】

- 大阪自然史センタースタッフ1名
- 自然史博物館学芸員1名
- 事務局アルバイト1～2名



当日

【イベント当日の運営】

- 大阪自然史センタースタッフ7名
- 自然史博物館学芸員15名
- 事務局アルバイト約20名

応援のしかた



協賛スポンサーになる



大阪自然史フェスティバルに寄付する



消耗品などを物資協賛をする

大阪自然史フェスティバルはみなさんからの応援を必要としています！

企業からの支援を得つつも、不安定なフェスティバル予算…

現在の大阪自然史フェスティバルは、企業からの協賛金を主な収入源としながら、外部の助成金や補助金が得られた時は、それらを組み合わせながら実施しています。それでも、フェスティバル費用をすべてまかなうことはできず、結果的に大阪自然史センターが経費の一部を自己負担しながら維持しているのが現状です。

大阪自然史フェスティバル2014 / 収支決算

収入の部

項目	決算
企業協賛金	950,000
寄付金	0
合計	¥ 950,000

支出の部

項目	決算		
	協賛金	外部助成金	センター自己負担
事務局費	210,000	110,000	270,000
会場運営学生アルバイト	171,000	194,220	0
講師謝礼	0	114,580	0
広報物デザイン、webサイト制作・印刷費	538,497	0	731
運営スタッフユニフォーム	0	0	29,400
消耗品費		130,866	0
郵送料	30,503	0	0
合計	¥ 950,000	¥ 549,666	¥ 300,131
			¥ 1,799,797

※上記以外に、広報宣伝や展示用消耗品の提供を大阪市立自然史博物館がおこなっています

自然史博物館を舞台に、自然に関係する人々がつどい、自然の現状や自然に関わる楽しさを多くのの方々に知ってもらうための“自然派市民の文化祭”＝「大阪自然史フェスティバル」。未来のナチュラルリストとなるたくさん子どもたちが「大阪自然史フェスティバル」を体験できるよう、継続させるための資金作りに、どうぞご協力ください。